

### 第3回日本家族社会学大会・第26回家族社会学セミナー

標記大会およびセミナーは、1993年9月3日（金）～5日（日）の3日間にわたり、神奈川県小田原市のMRAアジアセンターにおいて開催された。あいにくの天候にもかかわらず、約160名の参加者が集い、活発な報告・討論が行われた。本研究所からは阿藤誠、廣嶋清志、西岡八郎、才津芳昭が参加し、阿藤、廣嶋の両氏が発表を行った。以下は、発表者関連の報告を中心とする概要である。

第1日（9月3日）

テーマセッション1「家族と地域性」

第2日（9月4日）

午前：自由報告

午後：テーマセッション2「現代における結婚のかたちとその意味」

1. 未婚化・晩婚化——その動向・背景・影響——……………阿藤 誠
2. 結婚からのキャリア展開……………佐藤 友光子
3. 現代における結婚のかたちとその意味——現代型結婚は成熟するか——……………湯沢 雅彦
4. 結婚しないかもしれない症候群——結婚の「予期」をめぐって——……………江原 由美子

夜：フリータイム企画

第1企画「人口研利用可能調査データを活用した研究方法」……………コーディネーター：廣嶋 清志

第2企画「現代日本における国際結婚の状況」

研究情報交換広場

第3日（9月5日）

テーマセッション3「家族社会学の描く日本の家族——全国家族調査に向けて——」

（才津芳昭記）

### 世界精神保健連盟 1993年世界会議

世界精神保健連盟の1993年世界会議が1993年8月23日（日）～27日（金）の5日間千葉県幕張市の幕張メッセにおいて開催され、阿藤が報告者として参加した。WHOの中島宏事務総長、中村元東京大学名誉教授などの記念講演に加えて、17のサブ・テーマの下でそれぞれの基調講演に続いて多数のセッション（総計149）が開かれ、1,000を超える報告があった。サブ・テーマのひとつが人口問題と精神保健であったが、一般会員からの報告希望がなく、以下の基調講演とセッションのみが行われた。三本の報告テーマの重なりあう部分が少なく、discussionでは質問と情報交換がほとんどであった。阿藤の報告については、日本の出生率低下の背景と政府の対応について興味をもたれいくつかの質問が出された。

POPULATION : PRIVATE LIVES AND PUBLIC POLICIES

CHAIR : Meesook, Ambhorn, President, Foundation For Life-Long Education Of Thailand, Thailand

SPEAKER : Newman, Lucief., Professor, Brown Univ., U.S.A.

Session : POPULATION AND MENTAL HEALTH

CHAIRS : Newman, Lucief., Professor, Brown Univ., U.S.A.

Ejiri, Mihoko, Professor Tsuda College., Japan

SPEAKERS : Children Born To Women Denied Abortion : Mental Health Concerns,  
Dytrych, Zdenek, (Head, Psychosocial Family Research Unit, Prague  
Psychiatric Center, Czechoslovakia)